

学校名:倉敷市立真備陵南高等学校

『総合的な探究の時間（防災） 災害時のトイレアクション』

SDG's の 17 の目標 No

6

(安全な水とトイレを世界中に)

活動目標

学習活動

災害時のトイレ問題について考え、災害時要援護者にできるサポートを考える。

活動生徒 2～4年

活動目標

- ・災害時のトイレ問題について知る。
- ・災害時のトイレで困っている人にできるサポートを考える。

活動内容

○活動計画

- ・災害時には衛生環境が悪化すること、中でも特にトイレに関して様々な問題が起こることを学習した。その後、5つのケースを想定して、災害時要援護者に対してトイレでの困りごとや、どのようなサポートが可能であるかをグループで議論した。
- ・本活動の前時に、災害時に支援を必要とする「災害時要援護者」について学習。本活動の後に自分ができる被災地支援やボランティアについて考える活動をおこなった。

○生徒の状況

- ・平成30年の西日本豪雨災害時に被災した生徒もいるため、避難所でのトイレの問題について実体験として語れる生徒もいた。

そのような生徒の発言をきっかけとして意見を交わし、共有することができた。

○成果と課題

本校で行っている防災学習の一環として実施した。災害時における共助について考える中で、実施した。衛生環境に恵まれた日本でも災害時には環境が変わることに気づけた。

一方、災害時要援護者に対するサポートについては、困り事を想像できても、実際の行動に移せるかどうか不安だという声もあった。

年間計画で各活動をどのように関連付けて学習するかが今後の課題である。

